

ぽこ・あ・ぽこ

Poco a Poco イタリア語で「少しずつ」という意味です。

第113号 平成22年12月1日 発行

発行者 社会福祉法人 神戸婦人同情会 子供の家
〒661-0974 兵庫県尼崎市若王寺3-16-3
tel 06-6491-8953 fax 06-6498-3444
支援センター (tel, fax) 06-6491-1811
E-mail (子供の家) info@kodomono-ie.org
(支援センター) candy@kodomono-ie.org
URL http://www.kodomono-ie.org



「今年一年を振り返って」

主任児童指導員 原田 旬哉

今年も一年を振り返る時期になりました。子供の家でもクリスマス、正月ムードが高まってきました。行事も目白押しです。本年もかめいあんじゅの皆さんが12月8日にクリスマスディナーをサービスしていただけることになりました。また、12月12日には竹の会の皆さんが餅つきをさせていただきます。毎年子どもたちのために変わらぬ御厚意をいただき感謝にたえません。

その一方で、子どもを取り巻く社会環境は決して良いとは言えない状況です。今年は例年にも増して子どもが不幸になる事件が多いように感じました。特に4月には毎週のように子どもたちが命を落とす事件が頻発しました。これらの背景は様々な事情や要因が複合的に絡んでいるので、児童養護の現場で最近顕著に感じるのは貧困問題が深刻化していることです。

経済的に余裕がなくなると気持ちにも余裕がなくなります。苛々した日が多くなり、つい弱者である子どもにその苛々をぶつけることも多くなりがちです。

夏の7月末に大阪で起きた二人の子どもが遺棄され死亡した事件はその典型的なものではないでしょうか。「離婚」「シングルマザー」「若年」などが貧困問題のキーワードとして浮かび上がります。

この事件を知っている人の多くは「私には関係ない」と思っているのではないのでしょうか。また、子どもに虐待をする親は「鬼」や「悪魔」のようなイメージを持つ人も多いのではないのでしょうか。しかし、虐待は誰にでも起こりうるもの（その意味では非常に危険なもの）だということを知っておく必要があります。「風邪は万病の元」とも言います。ひき初めに対処することが大切です。虐待も同じだと思います。

子どもたちが健やかに育つ環境を作るとは私たち大人の責務です。自分の子どもだけが良ければ良いといった個人主義から脱却し、地域などの社会全体が子どもが育つ環境の創造に関心を持ち、調和主義を取り戻すことが大切ではないのでしょうか。来たるべき2011年が子どもたちにとって素敵な一年であることを願ってやみません。



囲碁大会



11月3日、大阪のなみはやドームにてこども囲碁大会が行われました。昨年の大会に比べて今年は全員が真剣に取り組んでいました。子供の家は西軍の一員として1702対1641で2連覇する事が出来ました。おめでとう！！

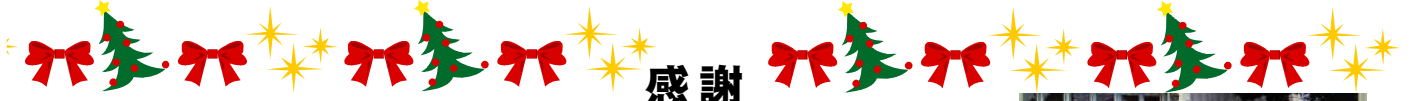


お勧めスポット



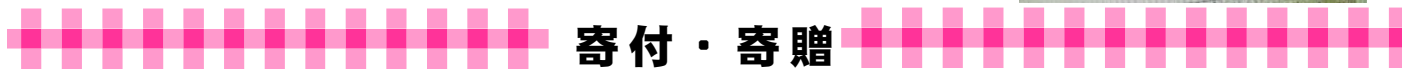
小学生の女の子全員で小学校の代休日を利用して西宮市にある塩瀬中央公園に行ってきました。

ご紹介したいのは80メートルのローラー滑り台です。山の傾斜を利用して高低差は130メートル。コースが上手に作られていて子どもだけでも十分に楽しめます。バトミントンやボール等、滑り台に飽きた時にと用意していた遊具を使う事なく1年生から6年生・職員までたくさん遊んで帰って来る事ができました。ローラー滑り台専用のマットを貸して下さる様ですが、ズボンに穴を開けて帰ってきた子どもには笑ってしまいました。何回滑ったんだろう・・・！！



感謝

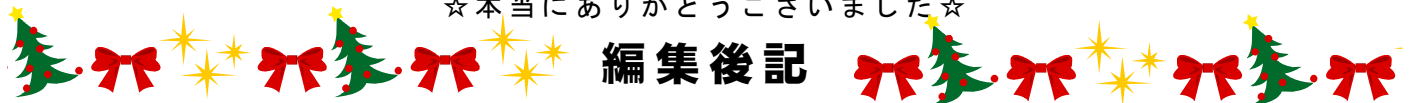
11月15日、フィリップモリスジャパンの9名の社員の方々が園庭の植木を切って下さいました。ありがとうございました。



寄付・寄贈

- ・西宮友の会様 ・堀尾眼科内科・堀尾俊治様 ・熊野大神社様 ・津久井 進様
- ・日本キリスト教団伊丹教会様 ・フィリップモリスジャパン 水野様 ・中村さと子様
- ・尼崎レオクラブ様 ・在日米国商工会議所 関西支部様 ・山口等様
- ・尼崎南ライオンズクラブ様 ・近藤富士男様 ・南比登志様 ・国枝昭子様
- ・大山観光株式会社 一番会館 横井康宏様 ・株式会社不二家フードサービス南塚口店様

☆本当にありがとうございました☆



編集後記

今年も終わりに近づいてきましたね。今月号では紹介できませんでしたが、演劇鑑賞に招待していただいたり京都の紅葉を見に行ったりと秋を感じる瞬間がたくさんあったように感じます。どうぞ来年もご愛読、宜しくお願い致します。